

STAND Still

性暴力サバイバー ビジュアルボイス写真展

Exhibit: Visual Voice of
Sexual Violence Survivors

2019年12月1日(日)~7日(土)

アートフォーラムあざみ野

男女共同参画センター横浜北

1階 交流ラウンジ「ミニギャラリー」

入場無料

ギャラリートーク

写真に見る

性暴力サバイバーの世界

2019年12月7日(土)

時間: 開場14:00 開演14:30

会場: アートフォーラムあざみ野

男女共同参画センター横浜北

2階セミナールーム

参加費: 1000円(1ドリンク付)

定員: 60人

事前申込:

www.PictureThisJapan.com

コンタクトフォームから

申込期間: 11月1日(金)~12月5日(木)



プロジェクト「STAND Stillー性暴力サバイバービジュアルボイス」について

世界的なムーブメント#MeTooは、多くの性暴力被害者に希望を与えました。それでも、公に#MeTooと言えないサバイバーたちは数え切れないほど存在します。アメリカで大きな反響を呼んだ写真プロジェクト「STANDー:性暴力サバイバー達」の作者で自身もレイプサバイバーであるフォトジャーナリスト大藪順子が、プロジェクトSTANDの第二弾として、今回のプロジェクト「STAND Still」を立ち上げました。

このプロジェクトでは、大藪がサバイバーの写真を撮るのではなく、サバイバー自身がカメラを用いて思いを写し、性暴力被害者の世界を内側から可視化し、公に#MeTooと言えない人たちの思いを伝えることを目的としています。この度、公募で集まった8名のサバイバーが7月から6回ワークショップを行い、写真に秘めた思いを語り合いながら展示会を作りました。

私たちは、性暴力被害という辛い体験があったにも関わらず、今も生きているだけで、サバイバーには大きな価値があると信じています。その辛かった体験があるからこそ、その人にしか言えない事やできない事があり、それは何処かの誰かに生き続ける勇気を与えるほどの力があるのです。

自分には価値がないと思っている人がいたら知ってほしい、あなたは尊く価値ある存在だと。

※この事業は、男女共同参画センター横浜北との協働事業として実施します。
※提供された個人情報、今回の事業実施のみに利用し、その他の目的で利用することはありません。
保育:1歳6か月～未就学児(予約制・有料)希望日の4日前までに「子どもの部屋」へご予約ください。
(TEL: 045-910-5724)
※経済的に困難な事情がある横浜市内在住・在勤・在学の方には、保育料が免除される制度があります。
詳細は電話 045-910-5700 へお問い合わせください。

ギャラリートーク
ファシリテーター



大藪順子(おおやぶのぶこ)

フォトジャーナリスト。アメリカシカゴのコロンビア大学卒業。その後アメリカ中西部の新聞社で働く傍ら、全米各地と日本で約80人の性暴力被害者を取材撮影したプロジェクト「STAND:性暴力サバイバーたち」がテレビドキュメンタリーとなって反響を呼び、全米各地で写真展と講演を展開。2006年より日本各地でも写真展と講演会を通して被害者支援のために活動を続ける。1996~2002年全米報道フォトグラファー協会より数々受賞。2002年ワシントンDCよりビジョナリーアワード、2008年やよりジャーナリスト賞、2011年シカゴ母校より卒業生賞受賞。2007年著書「STANDー立ち上がる選択」出版。2018年より団体Picture This Japanを立ち上げ、社会的弱者といわれる人たちが自ら思いを写すことを通して自身と向き合い、声を見いだすためのフォトプロジェクトの企画・運営を行う。

企画実施:



Picture This Japan

We picture a better future

www.PictureThisJapan.com

アートフォーラムあざみ野
男女共同参画センター横浜北

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3

○交通のご案内

東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野」駅 徒歩5分

※駐車場は予約制(有料) 電話:045-914-5910

